

横浜市関係

- 1 市人事委員会、二四四人の大卒職員合格者発表。▽柏尾川プロムナード(仮称)整備協議会設立
- 3 M M 21 フェスティバル開催。三菱重工業横浜造船所跡地で。11/5、6も
- 6 横浜市中央卸売市場南部市場開設一〇周年記念式典
- 7 市、五十九年度国家予算編成へ向け、一一項目の独自要望発表
- 8 M M 21 事業起工式
- 9 「港北区の緑と水辺を考える会」の区内斜面林所有者意識調査によると、積極保持派三三%、流動派三四%
- 10 第三二回横浜文化賞贈呈式。五人に
- 12 「ヨコハマさわやか運動」五周年記念推進大会。文化体育館に二、五〇〇人
- 13 第三回横浜マラソン、一〇部門に、四、〇八八人参加
- 15 市公害対策審議会に、自動車公害対策部会新設。六十年年度答申へ
- 18 市、潤いのあるまちづくりで自治大臣特別賞受賞。▽横浜市福祉サービス供給組織研究委員会、第二次中間報告「在宅福祉サービス協会(仮称)構想」を市長に提出。▽市街地再開発事業第一号の野毛三丁目市街地再開発ビル完成、「ちえるる野毛」の愛称でオープン。▽大棧橋と大黒埠頭の定期船運航開始

自治体・国・社会

- 1 サラ金規制法施行。▽伊勢原市で、公共用地取得促進めざし、代替地登録制度スタート。
- 3 五十八年度「神奈川県文化賞」「神奈川県スポーツ賞」贈呈式。
- 4 お年玉年賀はがき、史上最高の三〇億五千万枚発売。7 国土庁、五十八年度上半期地価動向調査結果発表。住所地一七%増。▽最高裁、五十五年衆院選の一票の格差訴訟で、三・九五対一は違憲状態と判断。▽第二回かながわ環境文化賞で、「箱根博物館」表彰。▽日本シリーズ、西武V二。9 レーガン米大統領来日(12)。
- 11 郵政省、CATV第一号として町田市のICN設置許可。13 日本初の五輪選手、金栗四三氏死去(92)。
- 14 川崎市、市情報公開条例案発表。▽新南極観測船「しらせ」、二五次観測隊のせ東京出航。16 第一回OBサミット、ウインで開会(18)。
- 18 愛媛大調査で、ごみ焼却場の飛灰・残灰からダイオキシン検出。▽労働省の「労働者の健康状況調査」によると、健康状態不調一七・二%。20 総理府「家庭における情報通信サービス調査」によると、ニユ

横浜市関係

- 20 「福祉の風土づくり運動」一〇周年記念シンポジウム、市健福センターで開催
- 21 中区役所新庁舎業務開始
- 22 第一〇回六都県市首脳会議、「首都機能の在り方」について横浜で開催
- 24 市大で、公立大初の社会人入試
- 25 環境庁の五十七年度地盤沈下調査結果で、港北区篠原町二六・三cmと全国一
- 26 市会本会議、「政治倫理確立に関する決議」可決
- 5 市、ESCAP(国連アジア太平洋経済社会委員会)・中国政府交通部主催の港湾セミナーに、港湾局企画振興部長を講師として派遣
- 8 市教育委員に医師草野真郎氏を選任することに市会が同意
- 9 民生局と中区役所が、浮浪者援護等のため街頭相談実施(14)。▽「勝利庵」は、独特の語感と印象を与える名詞であると判断し、大船「かつれつ庵」に店名表示使用禁止を横浜地裁が命ずる
- 11 昭和十年建築の馬車道にある市民ホール(老朽化のため改築予定)で「閉館コンサート」が催される
- 14 市行政管理委員会が報告書を発表し定例局長会で趣旨説明。▽中区根岸で横浜大空襲の際の不発弾(焼夷弾)撤去

自治体・国・社会

- 1 メディアを「知らない・わからない」六二%。21 大阪市長に大島靖氏四選。23 中国共産党胡耀邦総書記来日(30)。
- 24 高木国鉄総裁辞意。25 都知事の諮問機関「都シティ・ホール」建設構想懇談会。「新宿副都心に都庁移転を」答申。28 衆議院解散。▽厚相、年金制度改正案を、社会保険審議会、国民年金審議会に諮問
- 1 日本・ASEAN 科学技術関係関係会議開催。▽国税庁、年末調整は六年ぶりの減税で総戻り型と発表。2 第九代国鉄総裁に仁杉敏氏が就任。3 第三七回総選挙公示、野坂昭如氏が新潟三区から立候補。▽東京天文台、ブラックホールとみられる特異な天体を発見。5 自治省、選挙人名簿登録者数を発表、十二月二日現在の全国有権者数、八四四万三二五六人、議員一人当たり、最高千葉四区、最低兵庫五区の一・四一倍。▽文部省、全国の教育委に公立小・中学校でも「出席停止」措置可能と通知。6 中国残留日本人孤児六〇人が来日。▽八王子市長、市職員の見給問題で辞表

1 月

15 市職員の勤務時間に関する監査請求について「違法性、不当性はともにな

17 「木原研」の市大移管を含めた今後の在り方を同計画懇話会、市長に提言

21 横浜市政のりの会(市政モニターOB会)が、環境問題の部会を設置

22 市会第五委、港北区の斜面マンション工事について、設計変更を含む建築局の行政指導に関する説明を了承

26 環境事業局、焼却処分の際水銀汚染の心配される乾電池を来年一月から収集時に、分別収集することを決定。▽横浜大洋斎藤明夫投手が市役所を訪れ、みなと祭りバザーのチャリティオークションの

益金二〇七、九〇九円を寄付

27 サラ金被害を防ぐPRリーフレット横浜弁護士会と市民局が共同で作成し、市・区民相談室などで配布

28 市教委、教職員の人勸実施ストで処分(戒告一人、文書訓告四四人)

11 乾電池分別収集スタート

13 鶴見川水害予防組合と鶴見・港北区長ら建設、大蔵、通産大臣に鶴見川改修促進を陳情。▽旭区生活環境図集発刊

14 市、外国人登録人口発表。八二万四、二万一、六七九人。欧米系横、バィ・減少、東南アジア系増加の傾向

19\* 久良岐公園拡張計画地内の能舞台を

提出、受理さる。7モードロードで旅客機同士が衝突、乗客等一〇四人死亡。8 愛人バンク「タぐれ族」売春防止法違反容疑で摘発される。10 世界人権宣言採択三五周年記念式典、九段会館で開催。▽OA機器操作技能評価に関する初の認定試験

実施(主催中央職業能力開発協会)。14 県警、著作権法違反容疑でコピー業者等を全国初の摘発。13 西独、八四年春闘第一回労使交渉、週三五時間労働制導入が争点(現行六七年以来週四〇時間制)。18 第三七回総選挙投票日。全国平均投票率六七・九四%戦後最低。▽新勢力、自民250(286)、社会112(101)、公明58(34)、民社38(31)、共産26(29)、新自ク8(10)、社民連3(3)、無所属16(4)。( )解散時。27 第二次中曽根内閣、自治相に新自クの田川誠一氏が入閣

4 昨年の県下交通事故死者、四六四人でワースト三位。5 総理府「ボランティア活動に関する世論調査」によると、ボランティア活動に関心「ある」六一%。経験あり二三%。12 米価審議会、消費者米価三・七六%値上げ答申。14 中央社会保険医療協議会、診療報酬二・七

宮腰賢治氏(81)が市へ寄贈

20 大雪の影響で中央市場の冬野菜入荷激減、三・五倍の異常高騰。▽山下公園に住む須藤泰道氏(60)凍死

23 横浜商工会議所常議員会、「横浜国際空港」について正面から取り組んでいくことを確認。▽国税庁最高路線価発表

市内最高横浜高島屋前二〇〇万円/m<sup>2</sup>

25\* 横浜市・通産省・東京電力、市のごみ焼却工場(北部工場)の余熱発電による電力を東電を介さず直接市民利用施設に供給することで合意

26 一月一日現在の市の人口二九〇万四三五二人、九九万五九二世帯、二・九三人/世帯、六七五六人/km<sup>2</sup>。▽横浜スタジアム屋内練習場起工式

27 市美術館の建設や開館後の活動を民間の側からバックアップする横浜市美術館協力が発足。▽英語版「暮らしのガイド」"YOKOHAMA MY CITY"配布

30 野島地先理立て地帰属問題で横浜、横須賀両市、県が示した調整案(港湾区域・漁業区域・市境変更、国道三五七号延伸)を受け入れ。▽市長、MM21の第三セクター会社の資本金八〇億円のうち五〇%を公共セクターが出資すると表明。▽山手風致地区のマンション反対訴訟で横浜地裁、「原告適格性がない」と訴えを却下

%引き上げ合意、三月一日から実施。18 政府税制調査会、一兆二、四〇〇億円の減税と一兆二千億円の増税答申。▽三井三池鉱で坑内火災、八三人死亡。

20 池子弾薬庫跡地問題で逗子市長、米軍住宅受け入れへ方針転換表明。23 日本初の実用放送衛星「ゆり二号a」打ち上げ

24 全関係が本人名義の資産初公開。▽法制審議会の国籍法部会、国籍法改正案の要綱決定。

父系血統主義を父母両系主義に。▽四日市アエロジル公害訴訟で名古屋高裁、控訴棄却の判決。再び有罪に。25 五十九年度政府予算案発表。一般会計五〇兆六、二七二億円。前年度比〇・五%増。▽横浜地裁川崎支部、両親殺害の一柳展也被告に懲役一八年求刑。▽大手私鉄一社、平均一三・五%の値上げ

26 最高裁、四十二年七月豪雨で浸水被害を受けた大阪府大東市の被害住民の損害賠償訴訟で、二審判決を破棄・差戻し。住民敗訴。▽五十八年に県下で検挙、補導された非行少年は、二万九千人で戦後最高。29 都、五十八年度職員ペアを行革推進を条件に、国二・〇三%を上回る四・五%で実施を決定。30 日産自動車労使、英国進出に合意。

30 野島地先理立て地帰属問題で横浜、横須賀両市、県が示した調整案(港湾区域・漁業区域・市境変更、国道三五七号延伸)を受け入れ。▽市長、MM21の第三セクター会社の資本金八〇億円のうち五〇%を公共セクターが出資すると表明。▽山手風致地区のマンション反対訴訟で横浜地裁、「原告適格性がない」と訴えを却下

27 市美術館の建設や開館後の活動を民間の側からバックアップする横浜市美術館協力が発足。▽英語版「暮らしのガイド」"YOKOHAMA MY CITY"配布

26 一月一日現在の市の人口二九〇万四三五二人、九九万五九二世帯、二・九三人/世帯、六七五六人/km<sup>2</sup>。▽横浜スタジアム屋内練習場起工式

25\* 横浜市・通産省・東京電力、市のごみ焼却工場(北部工場)の余熱発電による電力を東電を介さず直接市民利用施設に供給することで合意

24 全関係が本人名義の資産初公開。▽法制審議会の国籍法部会、国籍法改正案の要綱決定。

23 日本初の実用放送衛星「ゆり二号a」打ち上げ

資料は「広報よこはま」によったほか、主として神奈川新聞を参考にした。\*印は日付不確定のため新聞発行日。